

名家連ニュース

平成31年2月24日(日)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 590号

「障害」表記を「障碍」へ 兵庫県宝塚市

兵庫県宝塚市は、市が作成する公文書で「障害」を「障碍(がい)」と表記する方針を決めた。「害」には他人を「害する」などの否定的なイメージがあり、「妨げる」という意味の「碍」を使う方が「しょうがい」の本来の意味にふさわしいと判断した。市によると表記変更に踏み切った自治体は全国で初めてという。(毎日新聞2019年2月5日)

豊田徳次郎氏(「障碍」「障碍者」表記研究家)の冊子紹介



左記の冊子は「みんなねっと兵庫大会」で参加者に配布されました。

◆豊田徳次郎氏(「障碍」「障碍者」表記研究家)の冊子から引用

「障害者」という表記は戦後出現したものです。「害」を使用した「障害」はモノや事象に対してのみ使用され、直接ヒトに対して使用された例は見つかっていません。「害」がヒトに対して使われた初めての事例は、昭和24年に制定された「身体障害者福祉法」です。漢字文化圏(中国、韓国、台湾など)で「害」を使用した「障害」という表記は日本のみです。

= 詳細は、筆者のブログ(「tokujirouの日記」)で検索して下さい =

◆巻末の佐藤久夫氏(日本社会事業大学名誉教授)の記述から引用

2020年が近づき、多数の漢字圏からのパラアスリートが来日することから、不適切な表記を早期に改めたいと国会が与野党一致で判断したものです。「害虫・害悪の害で呼ばれたくない。私は迷惑な存在ではない」という当事者の尊厳にかかわる声に対して、答えが求められています。(文責：事務局 堀場)

精神疾患の基礎知識講座最終回

2月21日、77名(家族45名、一般32名)の受講生が「テーマ：非薬物療法/社会資源」を熱心に受講し、2年に及んだ古水先生(メンタルクリニックみなみ所長)の連続講座が終了しました。

先生は最後に「医療者も家族の皆さんも一緒に前へ進んでいきましょう」と結ばれました。堀田会長は感謝の言葉を述べ、参加者に「先生のお話を思い起こし、日常生活に活かせるようにしましょう」と呼びかけました。池山副会長から感謝の心を込めて花束を贈呈。先生の優しい人柄がとても印象的な講座でした。

4月からは、臨床心理士の本間貴宣氏を講師に「精神疾患の理解と対応(臨床心理士)」をテーマに10回の連続講座を計画しています。



※紙面の都合で今回は、障害年金「家族の心得」シリーズを休止させていただきます